

## 子どもたちに寄り添うまちづくりを



寄居町青少年  
健全育成町民会議

会長 加藤 勝己

令和元年度から、会長として寄居町青少年健全育成町民会議の活動に取り組ませていただいております。寄居町青少年健全育成町民会議は、次代を担う子どもたちが、健やかに成長することを願い、家庭・学校・地域が一体となって活動に取り組んでいる団体です。

今年度も新型コロナウイルスの影響により、地域交流を図る活動が思うように行えませんでした。学校のご協力をいただき、昨年度と同様のスタイルで「道徳講演会」を実施することができました。

今年度の講演会講師は東京2020オリンピック柔道金メダリストの新井千鶴氏に快くお引き受けいただきました。夏休み前にインタビューを行い、学校の先生方の手で道徳教材を作成し、講演会に参加する児童・生徒に対し、この教材を用いた授業を実施していただきました。

新井氏の何度でもあきらめずに柔道へ立ち向かう姿勢を、授業で学んだ後の講演会であり、子どもたちにとっても、金メダリストの言葉を実際に聞くことのできた非常に貴重な機会であったと思います。

新井氏の母校である男衾中学校での講演会を、各小・中学校へ配信する形で実施し、町内の児童・生徒約1,200人が講演を聞くことができ、ご対応いただいた新井氏はじめ各学校の先生方、心より感謝申し上げます。

今後もこうした活動を通して、子どもたちが健全に暮らせる地域づくりをしていきたいと思っております。

## 次世代の為に我々は何ができるか



城南地区児童生徒  
健全育成協議会

会長 森田 淳一

日頃より子どもたちの健全育成活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

現在、「新しい日常」が定着した社会の構築に向けて「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」と「経済社会活動」の両立を図るさまざまな取り組みが行われ、世の中が動き始め、子どもたちのさまざまな学校行事も、徐々にではありますが形式を変え再開されていることに親として安堵しております。

その中で先日、大変興味を惹く記事を見つけました。日本財団が行った『18歳意識調査』にて「自分で国や社会を変えられると思う」と回答した割合が18.3%でした。これは調査対象9カ国(日本、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツ)の中で最低数値。2番目に少なかった韓国でも39.6%と日本と2倍以上の差が開いている状態です。また、「解決したい社会課題がある」と回答したのも46.4%と9カ国の中で突出して低い結果が出ています。現在、日本の若者の大半が「自分では国や社会は変えられないし、そもそも解決したいと思う問題もない」と感じていることが分かります。

では、我々大人は次世代の為に何ができるでしょうか。「自分でも社会に対してできることがある」と実感できる『CAN』の体験が必要だと思います。地域的課題を解決するためのプランを子どもたちが考え、プレゼンテーションによる提案まで取り組み「大人たちが実現をする」という覚悟が必要ではないでしょうか。



## スクラムを組んで!

### 寄居町青少年健全育成町民会議

寄居町青少年健全育成町民会議では、青少年の健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やPTA、民生委員・児童委員などの青少年と関係する団体・機関が連携して、活動を展開しています。

#### 令和4年度活動報告

#### 青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン (7月)

例年は町内3中学校区の健全育成協議会と共に、町内の駅前等でキャンペーン活動を行っていましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で、昨年度と同様に男衾地区健全育成協議会のみで実施しました。実施に当たっては、感染防止対策のため手指消毒を徹底、マスクと手袋を着用して啓発物の配布を行い、近年増加している青少年のインターネットを介した犯罪被害の防止を呼び掛けました。



■非行防止キャンペーン



■男衾中学校での講演



■道徳の授業の様子

#### 道徳講演会 (10月)

道徳講演会は「道徳のまち・寄居」の実現を目指し、心のつながりを大切にした地域づくりを目的に開催している事業です。今年度は、東京2020オリンピック柔道金メダリストの新井千鶴さんを講師にお迎えしました。講演会開催に当たっては、町立小・中学校の先生方ご協力のもと、新井さんを題材にした道徳教材を作成し道徳の授業を実施、新井さんについて学んだ後で道徳講演会を開催しました。

当日は男衾中学校でご講演いただき、その様子を町内小・中学校へオンライン配信しました。新井さんは、失敗を恐れずに挑戦してみる大切さ、挑戦してみて負けてしまったとしても、そこには学びがあること、私たちの生活は、必ず誰かの支えがあって成り立っていることへの感謝など、自身の体験を踏まえお話していただきました。講演後、子どもたちの生活にメリハリが出たとの声もあり、大変有意義な講演会となりました。

#### ほめ写プロジェクト

令和2年度から始めた「ほめ写プロジェクト」は、子どもの写真を飾ることで「子どもをほめる」機会を創出し、ほめることで子どもの自信のもととなる自己肯定感を伸ばすことを目的としています。今年度は、県の「家庭の日」(\*)の推進と併せて作成した啓発チラシを、町立小学校の全保護者の方に配布しました。親子で過ごす穏やかな時間が増えることを願っています。

※「家庭の日」とは、毎月第3日曜日に家族がふれあう日として埼玉県が定めているものです。



■啓発チラシ